

(4) 庄内川

水域名	BOD等類型	地点名	環境基準点等	現地調査結果						公共用水域調査結果			類型素案										
				水生生物生息状況 ※1		魚類放流 ※3		保護水面 ※4	河床状況	主な横断構造物	魚道	水温 (°C) ※5		全亜鉛濃度 (環境基準値 0.03mg/l)	類型	達成期間							
				生物A 該当種	生物B 該当種	ヒアリング ※2	生物A 該当種					生物B 該当種	平均水温				最高水温	平均値 ※6					
				確認の有無	確認の有無		確認の有無	確認の有無															
庄内川中流(1)	B	蛇ヶ洞川合流		無	有	生物A 該当種確認なし	無	無	無	岩盤石	堰	有	16.2	28.0	0.01	生物B	5年以内で可及的すみやかに達成						
		城嶺橋	基準点																				
春日井市玉野台付近		無	有																				
庄内川中流(2)	D	東谷橋		無	有								石礫	堰	有			17.0	28.6	0.01			
		大留橋	基準点											堰	有								
		吉根橋		有 (既存資料)	有									堰	有								
		春日井市下津町付近												床止									
JR中央本線橋梁												頭首工	有	19.5	30.6			0.08					
水分橋	基準点	無	有									堰	有										
庄内川下流	D	新川中橋											砂礫	床止	有								
		矢田川合流		無	有				床止	有													
		JR東海道本線橋梁																					
		枇杷島橋	基準点									19.1	30.9	0.05									
		横井大橋		無	有				泥砂														
明德橋		無	有																				
庄内新川橋	補助点									19.0	29.3												

注) ※1 調査で確認された魚類 生物A 該当種: (庄内川中流(2)) サツキマス
 生物B 該当種: (庄内川中流(1)) オイカワ、ドジョウ、スジエビ など、
 (庄内川中流(2)) オイカワ、フナ属、ウナギ など、
 (庄内川下流) ボラ、ウナギ、ウグイ など

※2 ヒアリング: 漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲

※3 [魚類放流] 漁協が魚類を放流している範囲

※4 [保護水面] 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚子の生育場として保護が図られている水域など

※5 [水温] 平均水温: 平成16~20年度の年平均値の5年平均値、最高水温: 平成16~20年度の年最高値の5年平均値

※6 [全亜鉛濃度] 平均値: 平成16~20年度の年平均値の5年平均値

超過

 急上昇

<参考データ>

全亜鉛(水生生物保全環境基準)の水域毎データ
 <河川及び湖沼>

都道府県	水域名	水域名(カナ)	河川・湖沼	該当類型	基準値	平均値の最大値	平均値
岩手・宮城	北上川	キタカミガワ	河川	生物A	0.03	0.010	0.006
岩手	四十四田ダム貯水池	シジュウシダダムチョスイチ	湖沼	生物A	0.03	—	—
東京・山梨	多摩川上流	タマガワジョウリュウ	河川	生物A	0.03	0.002	0.002
東京	小河内貯水池	オゴウチチョスイチ	湖沼	生物A	0.03	0.003	0.003
東京・神奈川	多摩川中・下流	タマガワチュウ・カリユウ	河川	生物B	0.03	0.019	0.013
大阪・奈良	大和川	ヤマトガワ	河川	生物B	0.03	0.024	0.018
徳島・高知	吉野川上流	ヨシノガワジョウリュウ	河川	生物A	0.03	<0.005	<0.005
高知	早明浦ダム貯水池	サメウラダムチョスイチ	湖沼	生物A	0.03	—	—
徳島	吉野川下流	ヨシノガワカリユウ	河川	生物B	0.03	0.006	0.006

※平成18年6月30日に類型指定の告示を行った水域である。
 水域内の全測定地点データを集計している。

BODで日本一汚れているといわれる大和川と
 比べても庄内川の濃度は圧倒的に高い。